

令和7年度 釜石市立鵜住居公民館運営結果

I 運営方針・重点目標

1 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、自然災害に備えた防災、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

また、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2 重点目標

- (1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮らすことができるような事業展開に努める。
- (2) 地域住民の各世代のニーズに応え事業を展開することにより、より多くの住民に学習の機会と場を提供するよう努める。
- (3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業を推進する。
- (4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。
- (5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業結果

1 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鵜住居子育て広場	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	<p>●保健講話、歯科講話、簡単な調理、相談（希望者）などを実施</p> <p>〔時期〕</p> <p>①6/26（木）6組（歯科講話）</p> <p>②8/28（木）7組（応急手当）</p> <p>③2/13（金）6組（お菓子作り）</p> <p>※参加人数は延べ42名</p> <p>〔場所〕</p> <p>鵜住居保育園子育て支援センター・鵜住居公民館</p> <p>〔対象〕未就学児と保護者</p>
			<p>【成果と課題】</p> <p>鵜住居保育園子育て支援センターとの共同事業であり、託児に関しては、母子保健推進員の協力を得て実施。感染症等の影響もなく、計画どおり実施できた。</p> <p>参加児は3ヶ月～3歳児と幅広い月齢であったが、事前に講師に説明し、それぞれに合った内容を提供することができた。また、参加者の様子から、保護者同士の交流や、講師や保健師に気軽に聞ける場を提供することができたと考える。</p> <p>子育て中は悩みが尽きないものであり、1人で抱え込まないようにするため、このような場の提供は必要と考え、来年度も継続する。また、内容については、</p>

	<p>鵜住居保育園子育て支援センターと相談しながら、保護者のニーズに合ったものを提供したいと考える。</p>
--	--------------------------------------------------------

2 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	わんぱく子ども教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	<p>●創作活動として「缶バッジ作り」を実施。陸中海岸青少年の家（キャラバン）にて。</p> <p>〔時期〕 8/8（金） 参加者33名</p> <p>〔場所〕 鵜住居公民館</p> <p>〔対象〕 鵜住居小学校の1～6年生の希望者</p>
	【成果と課題】		
	<p>鵜住居学童育成クラブと連携し、全学年を対象とし参加者を募ったことから、多数の参加があった。小学生の夏休みを利用したことにより、夏休みの楽しい思い出をつくることができた。また、6年生をリーダーとし、みんなで協力し仲間との交流を深めることができた。</p>		
	釜石東中学校学習サポート	目標に向かって学び続ける土壌を育むため、受験対策を目的とする学習機会を提供する。	<p>●ボランティア講師による学習会</p> <p>〔時期〕 実施なし</p> <p>〔場所〕 釜石東中学校など</p> <p>〔対象〕 釜石東中学校生徒</p>
【成果と課題】			
<p>令和7年度放課後等学習支援事業として、市内中学校5校において放課後に週1回程度の学習会を実施していることもあり、公民館としての学習サポートは終了とする。</p>			

3 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び高齢者の健康づくり	各種健診等の推進	健康教室等の事業や公民館だよりにより啓発記事を掲載し、各種がん検診、特定健診等の受診勧奨や指導を行う。	<p>〔時期〕 随時</p> <p>〔場所〕 鵜住居公民館など</p> <p>〔対象〕 鵜住居地区住民</p> <p>※特定健診後の健康相談（個別） 11/6、他3日間で対応 7名</p>
	【成果と課題】		
	<p>各種健診について、公民館だよりへの掲載やポスターの掲示等、受診勧奨を行った。また、特定健診後の相談会は他課の事業になるが、個別に検査結果を説明したり、生活習慣を一緒に振り返り、若干ではあるが改善点を助言することができた。希望者に限られるが、来年度も継続したいと考えている。</p>		
	あつまれ！鵜住居の杜	地域に安定した交流機会をもち、閉じこもり予防、心身の健康と学びの機会を設ける。	<p>●交流機会の創出、閉じこもり予防、心身の健康と学びの場の創出</p> <p>〔日程〕 原則毎月1回開催</p> <p>①調理実習と交流会 （釜石市郷土料理のかま団子作り） 4/9（水）16名</p> <p>②出前講座 ごみ減量とリサイクル</p>

			<p>(プラスチックごみの分別について) 5/14(水) 18名</p> <p>③出前講座 明治安田生命による (体の中から元気にいきいき血管) 6/11(水) 15名</p> <p>④出前講座 講話とフリートーク (高齢者虐待について) 7/9(水) 17名</p> <p>⑤健康講話・調理実習 (熱中症予防について) 8/6(水) 9名</p> <p>⑥出張!! 図書館サービス (文化箏の演奏、絵本の読み聞かせ) 9/10(水) 13名</p> <p>⑦ふるさと探訪 釜石の歴史を学ぼう (世界遺産登録10周年の橋野鉄鉱山見学) 10/8(水) 12名</p> <p>⑧創作活動 陸中海岸青少年の家による (貝殻和紙工芸 ストラップ作り) 11/12(水) 8名</p> <p>⑨健康教室 (みんなで学ぼう! 高血圧について) 12/10(水) 9名</p> <p>⑩歯科と栄養の健康教室 1/21(水) 13名</p> <p>⑪ランチ交流会 2/26(水) 15名</p> <p>※参加者延145名 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】</p> <p>『あつまれ! 鶴住居の杜』は、2年前の参加延べ人数は178名、昨年度は170名あった。今年度は145名と少し減少しているが、1回の教室の平均が約13人。調理実習のように人数制限を設けた場合もあるが、昨年度とほぼ変わらず、多数の方が参加している。その理由としては、教室の周知の充実、また参加したいと思えるような内容の展開をすることにより、徐々に参加者の増加につながっていると考えられる。また、新規での参加者も少しずつ増えてきており、住民同士の交流の場にもなっている。参加者の高齢化に伴い、無理のない範囲で住民にどれだけ興味を持ってもらえるような内容にするかが今後の課題となるが、今後も継続していく。</p>			
<p>うのすまい 女子会</p>	<p>女性の交流機会の提供、食生活の見直し、健康に関する知識啓発。</p>		<p>●女性対象の調理実習 ※メニュー 「ガーリックライス、チキンのトマト煮、マセドアンサラダ」 〔時期〕 12/23(火) 参加者11名 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区の女性</p>

	<p>【成果と課題】 男性限定の料理教室があったことから、女性の調理実習も実施してほしいという住民の声に応え、実施してから3年目になる。調理実習の内容は、クリスマスのメニュー。調理実習後は、交流会も兼ねてみんなで試食。新規での参加が少しずつ増えており、公民館事業の中では若い方の参加が多い事業。昨年度まではワンコインで（500円）で実施できたが、物価高も影響し調理実習費を600円で実施した。来年度も実施予定。</p>	
健康教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	<p>① 桑の浜健康教室 〔時期〕年4回+100歳体操後に1回 7/8（火）7名（熱中症予防） 9/9（火）7名（フレイル予防） 11/11（火）8名（脳卒中） *12/5（金）7名（フレイル予防） 2/10（火）7名（血压） 〔場所〕桑の浜集会所 〔対象〕桑の浜地区民</p> <p>② 室浜健康教室 〔時期〕年4回 7/9（水）5名（熱中症予防） 9/3（水）3名（フレイル予防） 11/12（水）4名（脳卒中） 2/4（水）5名（フレイル予防） 〔場所〕室浜集会所 〔対象〕室浜地区住民</p> <p>③ 女遊部健康教室 〔時期〕年1回 10/2（木）4名（認知症予防） 〔場所〕女遊部集会所 〔対象〕女遊部地区住民</p> <p>④ 両石健康教室 〔時期〕年2回 6/25（水）7名（熱中症予防） 2/25（水）実施予定 〔場所〕両石復興住宅集会所 〔対象〕両石地区住民</p> <p>⑤ 根浜サロン ※社会福祉協議会と共同開催。レクリエーションと健康講話（隔月）を実施。 〔時期〕月1回（夏・冬期休みあり） 4/24（木）10名（フレイル予防） 6/26（木）7名（熱中症予防） 9/25（木）8名（脳卒中） 11/27（木）7名（ニュースポーツ交流会の練習） 〔場所〕根浜集会所 〔対象〕根浜地区住民</p> <p>⑥ 保介一体事業の健康教室 A) フレイル予防 〔時期〕9月～2月 6団体 各2回、計12回</p>

			<p>(※桑の浜、室浜は再掲)</p> <p>〔場所〕各地区集会所等 〔対象〕100歳体操団体等</p> <p>B) オーラルフレイル予防 〔時期〕2回(10/6、2/2) 延12名 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕ハッスル会(自主活動グループ)</p>
		<p>【成果と課題】</p> <p>今年度は保介一体事業の健康教室も実施し、主にフレイル予防に取り組んだ。参加者は70～80歳代であり、介護予防の意識付けとして良かったのではないかと考える。来年度は、今年度実施していない地域や100歳体操の団体等に実施できたら良いと考えている。</p> <p>また、定期的実施している地区では、地区の様子や参加者の近況も聞くことができ、その変化も見てとることができると感じた。</p> <p>教室の手法については、昨年同様、新たなものを取り入れてということもなく、似たような形になってしまった。定期的実施している地区では、参加者が飽きないように、他職種の協力を得ながら、工夫していきたい。</p>	
各種100歳体操の会	100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。		<p>① イケイケ会 〔時期〕毎週金曜日 〔場所〕鶴住居復興住宅2号棟集会所 〔対象〕鶴住居復興住宅2号棟の周辺住民 ※現在、お休み中</p> <p>② ホップステップ 〔時期〕毎週水曜日 〔場所〕箱崎集会所 〔対象〕箱崎地区住民</p> <p>③ 片岸きらきらクラブ 〔時期〕毎週火曜日 〔場所〕片岸集会所 〔対象〕片岸地区住民</p> <p>④ いきいき鶴住居 〔時期〕毎週火曜日 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕鶴住居地区住民</p> <p>⑤ 桑の実クラブ 〔時期〕毎週金曜日 〔場所〕桑の浜集会所 〔対象〕桑の浜地区住民</p> <p>⑥ ニコニコ室浜 〔時期〕毎週火曜日 〔場所〕室浜集会所 〔対象〕室浜地区住民</p> <p>⑦ スマイル日向 〔時期〕毎週火曜日 〔場所〕日向復興住宅集会所 〔対象〕日向地区住民</p> <p>⑧ 両石若人の会 〔時期〕毎週土曜日 〔場所〕県営両石アパート集会所</p>

			<p>〔対象〕 両石地区住民 ⑨やまびこの会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 外山集会所 〔対象〕 外山地区住民 ⑩新川原のつどい 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 新川原集会所 〔対象〕 新川原地区住民 ⑪シャキッと新神 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 新田・神ノ沢集会所 〔対象〕 新田・神ノ沢地区住民</p>
<p>【成果と課題】 今年度は全団体を回り、活動状況の確認を行った。また、4団体にはフレイル予防教室も行った。中には、病気等、本人や家族の状況により、参加者が一時的に減少し、存続が危ぶまれた団体があったが、活動の休止や終了となったところはなかった。ただ、発足当時のメンバーが固定化され、新たに参加する方が少ない現状があり、今後の課題と考える。100歳体操は地域の方々が集まる場として、大切な社会資源にもなっているため、今後も社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと共有しながら、適宜支援していきたいと考える。</p>			
すまいるウォーキング	<p>鵜住居地区内、また市内外のウォーキングスポットをウォーキングすることで、鵜住居地域住民間の交流、健康維持の機会を設ける。</p>		<p>●ウォーキングによる交流と健康維持 〔日程〕 毎月第2金曜日 4/11（金） 14名 「陽春の鵜住居散策ウォーキング」 5/9（金） 11名 「片岸防潮堤ウォーキング」 6/13（金） 14名 「恋の峠を越えて両石まで歩こう」 7月、8月 夏季休止 9/12（金） 7名 「根浜海岸～市道箱崎半島線ぐるっと一周」 10/10（金） 10名 「秋の市街地散策ウォーキング」 11/21（金） 13名 「花巻 日居城野運動公園ウォーキング」 12月～3月 冬季休止 参加延べ人数69名、開催数6回 〔場所〕 鵜住居地区、市内外スポット 〔対象〕 鵜住居地区住民ほか</p>
<p>【成果と課題】 本事業への継続参加促進策として、スタンプラリーを実施しており、年度の最終回はスタンプラリー参加者への特典事業として、市外観光スポットに出かけウォーキングを行った。 継続開催している事業であるため参加者は顔なじみとなり、住民間の交流が図られている。また、毎回約5キロウォーキングできるコースとし、健康維持にもつながっているものとする。</p>			

<p>今後の課題としては、参加者が固定化されつつあるため、新規参加者を募るアプローチが必要と考える。</p>			
<p>鵜住居健康ラジオ体操</p>	<p>定期的に体を動かす機会を作ることにより運動を習慣化し、住民の健康づくりと交流の機会にする。</p>	<p>●ラジオ体操を通し健康維持と交流の機会を提供。 〔時期〕 4月～6月を前期 9月～11月を後期 〔参加人数〕 前期平均約8人 後期平均約6人 〔時間〕 鵜住居公民館稼働日 9:00～9:15 〔場所〕 鵜住居公民館駐車場前付近 雨天時は鵜住居公民館多目的室 〔対象〕 鵜住居地区住民</p>	
<p>【成果と課題】 ラジオ体操に参加している方に対して、交流の機会を提供することができた。また、定期的に行うことで、健康意識、運動習慣を身に着けることができた。職員が交代で対応しているが、業務の都合上時間が合わない場合がある。対応方法について今後検討する。参加するメンバーが固定化しているので新規の人でも気軽に参加しやすい様にチラシ等で周知を行う。</p>			
<p>芸術文化活動の推進</p>	<p>鵜住居交流講座</p>	<p>地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。</p>	<p>●手芸の講座として、ちりめん細工で「さくらの花」を作った。 〔時期〕 8/4 (月) 参加人数8名 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民</p>
	<p>【成果と課題】 毎年、参加者から手芸や工芸は続けて実施してほしいという声が多いこともあり、今年度は、ニコー商会へ講師をお願いし、ちりめん細工で「さくらの花」を作った。前回から継続の参加者もみられるなか、新規での参加者も何人かいた。今回、活動時間を3時間半と多く設定したことで、ほぼ全員が時間内に完成し、満足感のアップ、更には今後の参加意欲につながったものとする。また、完成した作品は、公民館まつりの「作品展示」へ出品した。今後は、同じ趣味を持つ者同士で自主活動できるよう支援していくと共に、住民が求めているものを取り入れた内容にしながら事業を継続していく。</p>		
	<p>出張公民館事業</p>	<p>鵜住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。</p>	<p>●保健講話、栄養講話、手作りお菓子の紹介と試食、ニュースポーツを行った。 〔時期〕 6/4 (水) 参加人数8名 〔場所〕 外山集会所 〔対象〕 外山地区住民</p>
	<p>【成果と課題】 今年度は、外山地区で実施。「フレイル予防」についての講話、卵とヨーグルトを使用した炊飯器で簡単に作れるお菓子の紹介と試食を行った。また、社会福祉協議会の協力のもと輪投げとスライドカーリングを全員で行い、住民同士の交流を深めることができた。公民館から離れていることから、公民館事業への参加が少ない地域での開催は必要な事業であるとする。来年度も実施する方向で検討していく。</p>		

男女共同参画の推進	男の手料理教室	男性の交流機会を設けると共に、健康づくりや食生活の改善を図ることを目的とする。	<p>●交流機会の提供及び食生活の見直し 栄養や健康に関する知識の啓発 〔時期〕毎月1回 4/16(水)7名(いなり寿司) 5/21(水)6名(そら豆 Pasta) 6/18(水)6名(シュウマイ) 7/16(水)6名(流しそうめん) 8/20(水)6名(スープカレー) 9/17(水)6名(鶏だんご汁) 10/25(土)8名(お振舞おにぎり) 11/19(水)7名(鮭じゃが) 12/17(水)8名(油淋鶏) 1/14(火)7名(みずき団子) 2/18(水)6名(ビビンバ丼) 3/18(水)予定(ハンバーグ) 参加者延べ73名+α ※8/20は小川メンズグルメの会と交流会 10/25は公民館まつり、1/14はおーい!昔っ子教室と合同開催 〔場所〕鵜住居公民館 〔対象〕鵜住居地区の男性</p>
<p>【成果と課題】 新規参加者は1名いたが、継続には至らなかった。調理を一緒にすることで、自然と会話が生まれ、男性同士の交流の場は提供できたと考える。さらに、減塩やフレイル予防等の健康面へのアプローチも行うことができたと考える。 昨年度と同様に小川メンズグルメの会や、参加者の希望で地域住民(※)を招待する等、参加者以外の方との交流も行うことができた(※初めから多数対応は難しいため、試行的にラジオ体操の参加者に声をかけた)。 また、公民館まつり等にも快く協力してもらい、地域での活躍の場も提供できたのではないかと考える。 来年度も、参加者の希望をできる範囲で取り入れながら、事業を実施していきたいと考える。</p>			
高齢者の生きがいづくり	鵜住居管内ニュースポーツ交流会	鵜住居管内において公民館事業などでの取り組みにより、ニュースポーツ人口が増えていることから、ニュースポーツによる交流会を開催することで管内地域住民の交流を図る。	<p>12月に開催される「釜石市公民館対抗ニュースポーツ交流大会」の選手選考会もかねて実施予定であったが、新種目である「卓球バレー」の体験会と練習会に変更した。 ◎体験会 〔時期〕11/14 15名 〔場所〕鵜住居公民館 〔対象〕鵜住居地区住民 ◎練習会 〔時期〕11/26 9名 12/3 10名 〔場所〕鵜住居公民館 〔対象〕鵜住居地区住民</p>
<p>【成果と課題】 市内公民館対抗ニュースポーツ交流大会の新たな種目「卓球バレー」の体験会、練習会へ変更した。</p>			

	<p>体験会は釜石市社会福祉協議会の生活支援コーディネーター、練習会は市スポーツ推進員の協力のもと、公式ルールに沿って競技を行った。競技に慣れるまでは恐る恐る行っていたが、徐々にコツをつかみ、参加者同士で声をかけあいながら、賑やかな体験会、練習会となった。</p> <p>参加者から「またやりたい」といった声もあがり、ニュースポーツを通じて住民の交流が図られたものとする。</p>		
	<p>デイサービス事業 【共催事業】</p>	<p>引きこもり予防事業として、高齢者の仲間づくり、健康生活の維持・促進等を図ることを目的とする。</p>	<p>●ふれあい教室 (釜石市社会福祉協議会が各種レクリエーションなどを実施)</p> <p>〔時期〕 毎月第2金曜日 4/25 (金) スカットボール18名 5/30 (金) ぐらぐら輪投げ19名 6/27 (金) ボウリング 16名 7/25 (金) スカットボール16名 8/29 (金) 公式輪投げ 17名 9/26 (金) スカットボール18名 10/31 (金) スカットボール19名 12/26 (金) お宝どっさり16名 1/30 (金) シャッフルボール17名 2/16 (金) スカットボール17名 3/30 (金) スカットボールの予定 参加者延べ 173人</p> <p>〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居管内地域住民</p>
	<p>【成果と課題】 令和7年度から、釜石市社会福祉協議会主催の「ふれあい教室」となり、公民館と共催で実施。内容は、毎回準備体操をし、昔なつかしい歌を歌い、レクリエーションを行う。毎月この日を楽しみにしている方が多く会員も多くなってきている。レクリエーションの内容も参加者目線に考えられており、徐々に参加者の増加につながっている。住民同士の交流の場にもなっていることから今後も、釜石市社会福祉協議会と連携をしながら継続をしていく。</p>		

4 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
<p>芸術文化の推進</p>	<p>うのすまい 公民館まつり</p>	<p>公民館利用団体の発表の場とし、鶴住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。</p>	<p>●ステージ発表、作品展示、物販、お振舞い、公民館の取り組み発表などを実施。</p> <p>〔時期〕 10/25 (土) ※作品展示は、10/29 (水) まで 参加延人数300名</p> <p>〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか</p>
	<p>【成果と課題】 今年度、公民館まつりのスローガンを「見て、学び、楽しもう、世代を超えて!」とし、ステージ発表、作品展示、物販、お振舞い、公民館の取り組みの発表を行った。また、今年度初めて、鶴住居青年会による虎舞の披露、釜石東中学校吹奏楽部による演奏の披露や、釜石消防署の協力のもと、消防体験コーナーを設置した。併せて、自主活動グループのそばの三たて会、男の手料理教室の協力</p>		

	<p>もいただいた。</p> <p>今年度は特に若い世代が参加することで、地域をともに盛り上げ、住民とのつながりを深めることができたと思う。</p> <p>自主活動グループ等のステージ発表の順番については、団体の代表者と協議し決定したこともあり、スムーズに実施することができた。今後も、関係機関としっかり連携をはかり、実施につなげていくことが大事であると思う。今後は、職員が少ない中での開催も予想されるため、関係機関と連携を密にすることが大事である。公民館まつりは来年も実施の予定。</p>	
交流の場の創出	市内公民館交流事業	<p>地区の規模、自然環境や風習が違う他地区の住民と交流することで、様々な体験や気づきを得ることにより、自分の住む地域を再認識し、郷土愛の醸成や地域の活性化を図る。</p> <p>●栗橋地区の住民とわらび狩り体験を実施。</p> <p>〔時期〕5月19日 9名 （内訳：鶺住居9名、栗橋0名）</p> <p>〔場所〕橋野町和山高原</p> <p>〔対象〕鶺住居地区住民 栗橋地区住民</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>年2回の開催を予定していたが、調整がつかず1回の開催となった。</p> <p>他地区で開催することで、いつも以上に自然環境の大切さに気付くとともに、住民間の交流の大切さにも気づいたものと思う。</p> <p>今後の課題としては、参加者が魅力的に感じる交流内容及び開催時期について検討する必要がある。</p>	
	鶺住居地域交流会	<p>子どもと地域住民の交流の場となる地域に定着した事業として、ニュースポーツによる交流会を実施することにより世代間交流の促進を図る。</p> <p>●鶺住居小学校と連携し、児童と地域住民と世代間交流会を実施。</p> <p>〔時期〕2/10（火）</p> <p>鶺住居小学校1年生 12名 2年生 22名 教員等 4名 鶺住居地区住民 13名</p> <p>※ポッチャ交流会参加人数 51名</p> <p>※協力：釜石市スポーツ推進員協議会 釜石市社会福祉協議会</p> <p>〔場所〕鶺住居公民館</p> <p>〔対象〕鶺住居小学生 鶺住居地区住民</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>昨年に引き続き、小学生と地域住民の世代間交流を促進するため、ポッチャ大会を実施した。地域住民も小学生も積極的に交流に参加し終始笑顔があふれる会となった。今回は、ポッチャの審判・実技指導については、文化スポーツ課を通して釜石市スポーツ推進委員協議会へ協力をしていただいた。また、社会福祉協議会にも協力していただいた。このような世代間交流の場は重要であるため、今後も、関係機関と協力をし、特に、実施内容や時期などは学校と調整を密にしていながら来年度も引き続き、交流会開催を検討していく。</p>	
おーい！むかしっ子教室	<p>地域に受け継がれてきた食文化や風習を次世代の子ども達に継承・伝承するとと</p> <p>●小正月の伝統行事として「みすき団子作り」を行い、調理時間を利用して、「漁火の会」による昔話を聞く会を実施。</p>	

		もに世代間の交流を図る。	〔時期〕 1/14 (水) 鶺住居学童育成クラブ (1~3年) 14名 鶺住居地域住民 14名 鶺住居男の手料理教室メンバー 7名 岩手県食の匠 1名 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居学童育成クラブ 鶺住居地域住民
	<p>【成果と課題】</p> <p>今回、4回目の実施。小正月伝統行事として「みずき団子づくり」を子ども達と地域住民とで行い、地域に受け継がれてきた食文化や風習を伝承することができた。鶺住居地区の男の手料理教室との共催で行った。また、お楽しみ会として、「漁火の会」の語り部に昔話を披露してもらい、世代間の交流を図ることができた。今後も、実施内容や日程などは早めに関係機関と調整をしながら、継続して実施することが望まれる。</p>		
防災や生活環境に関する学習	鶺住居防災学習	自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。	<p>●鶺住居地域会議との共催により防災学習を行った。</p> <p>◎うのすまい公民館まつりにおいて消防ポンプ車の展示、煙体験ブースの設置、災害時持出袋の展示等 〔時期〕 10月25日 (土) 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居地区住民ほか</p> <p>◎防災知識講座 〔時期〕 2月6日 (金) 20名 〔場所〕 鶺住居公民館 〔対象〕 鶺住居地区住民ほか 〔講師〕 市防災危機管理課職員</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>「うのすまい公民館まつり」において、釜石消防署の協力のもと消防ポンプ車の展示、煙体験ブースの設置、また、市防災危機管理課の協力のもと災害時持出袋の展示等を行った。多世代の方が集まる公民館まつりにおいて当ブースを設けたことにより、近隣施設からも釜石消防署へ体験実施の申し込みがあり、防災意識を高めることができたと考える。</p> <p>市防災危機管理課職員を講師として「防災知識講座」と題し、津波災害に限らず、大雨による浸水、洪水、土砂災害等の説明、避難所と避難場所の違い等身近なテーマの講座を実施した。参加者から多くの質問や、防災学習は継続して行っていくべきとの発言もあり、充実した講座内容であったと考える。</p>		

5 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容 (時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年 (年末年始は水道管凍結)

			防止のため貸館休止) 〔対象〕生涯学習活動が目的の団体・個人など
--	--	--	-------------------------------------

6 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕5/28（水）、2/27（金） 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕公民館運営審議委員
	サークル代表者会議	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕6/6（金） 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとりの発行	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。（令和4年度11/15号から紙面リニューアル、令和5年4月から1日発行に変更） 〔時期〕毎月1回 1日発行 〔対象〕鶴住居地区住民
	自主サークル活動支援	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	登録団体：17団体 〔活動時期・内容・活動場所〕別紙のとおり
	鶴住居地域会議との連携	鶴住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携し、まちづくりを進める。	鶴住居地域会議との連携事業 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕地域会議構成員
	【成果と課題】 「うのすまい公民館まつり」及び「鶴住居防災学習」について、鶴住居地域会議のサポート、共催により盛会裏に開催できた。		
	ボランティア団体等の受入	関係団体と連携し、各種のボランティア団体を受け入れ、地域を支援する。	〔時期〕随時 〔場所〕鶴住居公民館 〔対象〕鶴住居地区住民
【成果と課題】 音楽の力によるコンサートへの共催、埼玉モダンダンスサークル復興支援事業「ネバーギブアップ」への共催、鶴住居地区民生委員児童委員協議会が開催した「うのたみ食堂」へ協力することで、それぞれの事業開催を支援した。			

7. 事業評価

① 事業評価と今後の課題

すべての世代を対象に事業を展開できており、各事業のメニューについても住民の意見や要望を取り入れながら充実したものとなっている。直近3年間の積極的な取り組みにより、地域内外から公民館活動を認知していただいております、鶴住居地域以外からの参加もあるほか、地域内においても公民館で楽しいことをやっているとの口コミにより、新規の参加者が少しずつ増えている。

一方、いくら魅力的なメニューを用意しても、公民館までの交通手段がないことには参加することができないことから、遠距離の住民へ対して出張での支援が必要と考える。

また、小学校と地域住民との交流事業は何回か設定しつつも、中学生と地域住民の交流機会が少ないことから、どのようなことができるか学校と連携しながら、実現可能な事業を考えていきたい。

そのほか、参加者の高齢化が進んでいることから、無理のない範囲で、興味を持って参加していただける事業を用意することも今後の課題である。

② 評価の手法

公民館主催事業・共催事業（保健事業）については、運営計画の目標を基準に以下の項目で評価する。

目標番号	評価項目	評価指標①	評価指標②	評価指標③
①	普及・啓発	講座開催数	参加者数	—
②				世代別の講座数
③				地域会議共催活動
④	団体の活性化	登録サークル数	活動参加者数	—
⑤	他団体との連携	連携団体数	連携した事業	—

③ 各評価項目の達成比率

評価基準	令和6年実績	令和7年実績	増減率
講座開催数(主催分)	70回	77回	110%
参加者数(人数/1回)	11.1人	10.6人	95.5%
子ども世代の講座数	6回	6回	増減なし
大人世代の講座数	64回	71回	111%
地域会議共催活動	1回	2回	200%
登録サークル数	17団体	17団体	増減なし
公民館活動参加者数(人数/1回)	10人	10人	増減なし
連携団体数	12団体	19団体	158%
連携事業数	8事業	12事業	150%

※参加者数・・・全体で 823人

《変動の要因》

①講座開催数について

- ・昨年度計画したとおりほぼ実行できた。

②参加者数について

- ・参加者数の取り方は、「鶴住居子育て広場」、「わんぱく子ども教室」、「あつまれ！鶴住居の杜」、「うのすまい女子会」、「健康教室」、「すまいるウォーキング」、「鶴住居交流講座」、「出張公民館事業」、「男の手料理教室」、「鶴住居管内ニュースポーツ交流会練習会」、「ディサービス事業ふれあい教室」、「市内公民館交流事業」、「鶴住居地域交流会」、「お〜い！むかしっ子教室」、「鶴住居防災学習」の平均値で算出している。（※計15事業）

③地域会議活共催活動について

- ・「釜石東中学校学習サポート」は、放課後等学習支援事業で週1回学習会を実施していることから公民館としての学習サポートは終了。
- ・鶴住居地域会議のサポートを受け、うのすまい公民館まつりは、約300人と多くの方に来場していただいた。
- ・鶴住居防災学習として「防災知識講座」を開催し、20名の参加があった。

④登録サークル数について

- ・例年同様17団体。

⑤連携団体、連携事業数について（主な連携先）

- ・「鶴住居子育てひろば」…鶴住居保育園子育て支援センター
- ・「わんぱく子ども教室事業」…鶴住居小学校、鶴住居学童育成クラブ、県立陸中海岸青少年の家
- ・「各種健康教室」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- ・「あつまれ！鶴住居の杜」…薬剤師会、社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、明治安田生命図書館、県立陸中海岸青少年の家、
- ・「鶴住居地域交流会」…鶴住居小学校、社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、釜石市スポーツ推進委員協議会
- ・「出張公民館」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
- ・「お〜い！むかしっ子教室」…鶴住居小学校、鶴住居学童育成クラブ
社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、漁火の会
- ・「鶴住居交流講座」…ニコー商会
- ・「うのすまい公民館まつり」…鶴住居地域会議、社会福祉法人釜石市社会福祉協議会
鶴住居青年会 釜石消防署 鶴住居幼稚園、鶴住居保育園
鶴住居学童育成クラブ、鶴住居小学校、釜石東中学校
- ・「鶴住居管内ニュースポーツ交流会」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会、釜石市スポーツ推進委員協議会
- ・「男の手料理教室」…小川メンズクラブ
- ・「ディサービス事業」…社会福祉法人釜石市社会福祉協議会